

COMET

B120HSS

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも
見られるところに保管してください。



はじめに

このたびは、バッテリータイプモノブロックストロボB120HSSをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本機は韓国SMDV社製となりCOMETは輸入元となります。

本機をご使用になる前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、注意事項や使用方法を十分ご理解いただいたうえでご活用ください。

また、修理・点検の際には保証書を必ずご提示ください。

※保証書は販売証明書として修理・点検の際、御確認させていただきます。

保証書が無い場合は修理・点検をお断りする場合もございます。

セット内容

- B120 HSS (保証書)
- グリップ B120用
- ダブルダボ
- リチウムイオン電池 B120用 (保証書)
- 充電器 Bシリーズ用 (保証書)
- 取扱説明書 (本書)

目次

1. 安全のため特にご注意ください	1～4
2. 使用上のご注意とお願い	5
3. 各部の名称とはたらき	6～8
4.撮影準備	9～15
リチウムイオン電池B120用	
グリップB120用の取り付け	
メインスイッチのON/OFF	
無線シンクロ撮影	
5. マニュアルモード	16
6. マニュアルHSSモード	17～18
7. マルチ発光モード	19～20
8. フォトセル	20～21
9. モデリングランプ	21
10. サウンド	22
11. RS-発信器／RS-コントローラー	22～23
12. 過熱警報	23
13. 出荷時設定	24
14. 保障とアフターサービス	25
15. 仕様	26～27
16. トラブルシューティング	28

1 安全のため特にご注意ください



- ご使用の前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、この機器を使う人への危害、または物的損害を未然に防止するための注意です。
- 注意事項は危害や損害の大きさと切迫の度合いを明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。

いずれも機器を安全にお使いいただくために重要な内容ですので、必ず守ってください。

危険：人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。

警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

絵表示の意味



- △記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な禁止内容（左図は感電注意）を示しています。



- 記号は、禁止行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図は分解禁止）を示しています。



- 記号は、具体的な指示内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図はプラグをコンセントから抜いてください）を示しています。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

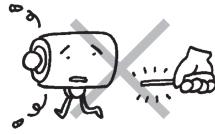


警 告

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないでください。



電源部には、メインスイッチを切り本体から電池を取り外した後も、内部に長時間高電圧が残っており、感電の恐れがあります。



- 水に濡れる場所や湿度の高い場所での使用、また手足が濡れた状態、素足での操作はしないでください。



漏電による感電の恐れがあります。



- 本体スリット部には金属などの異物を絶対入れないでください。



感電、ショートによる発火の恐れがあります。



- ストロボは発光時、高温の熱を発します。人体に向けて近い位置で発光させたり、可燃物に向けての使用は絶対にしないでください。

火傷や火災の恐れがあります。



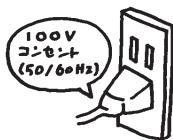
- 揮発性のガソリン、シンナー、可燃性ガスなどを使用している場所や、大量の粉塵が舞っている室内などでは絶対に使用しないでください。

爆発、火災、火傷の恐れがあります。



- 使用電圧はAC100V～240V(50/60Hz)です。

異なる電圧で使用すると感電、発火、火災の原因となります。(充電器)



! 注 意



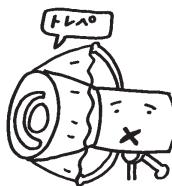
- 使用中や使用直後の発光面はかなりの高温になります。十分に温度が下がってから取り扱ってください。

火傷の恐れがあります。



- ヘッド使用中は、紙や布または樹脂系のシートなど可燃物を近づけたり、覆っての使用はしないでください。

使用中はかなりの高温となり発火、火災の恐れがあります。



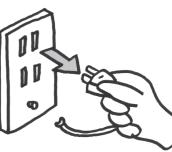
- 落としたり衝撃が加わったときは、直ちに使用を中止し、弊社、またはご購入店で点検を受けてください。

外観的な変形がなくても内部の電子部品などの損傷で、感電や漏電の恐れがあります。コードの被覆損傷のときも同様に点検を受けてください。



- 使用後は安全のため必ず充電器をコンセントから抜きとるか、ブレーカーなどをOFFにしてください。(充電器)

発火、火災の恐れがあります。



- B120HSS本体に電池を装着したまま電池を充電する場合は、絶対にB120のストロボ発光をしないでください。

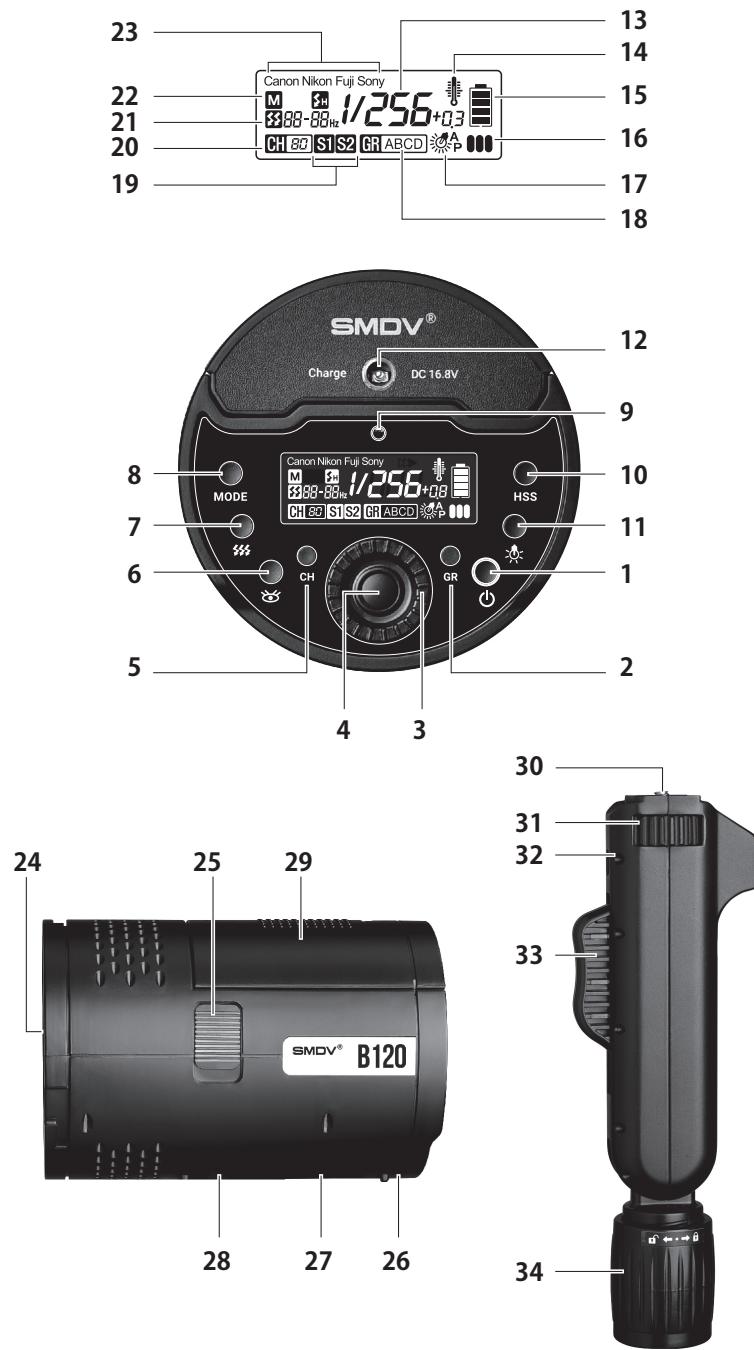
電池劣化の原因となります。

リチウムイオン電池B120用に関しての注意・警告は10~11ページを
御参照ください。

2 使用上のご注意とお願い

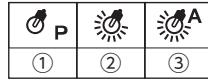
- ストロボ電源部は使用しないときでも1ヶ月に1~2度は必ず出力をFULLにして通電をしてください。
- 3ヶ月以上(10ヶ月未満)の長期間ご使用にならなかったストロボ電源部は、出力をFULLにして最低4時間通電をしてください。
この間は絶対に発光させないでください。
- 10ヶ月以上の長期間ご使用にならなかったストロボ電源部は通電せずに弊社クリニック課による点検(有料)を受けてください。
長期間ご使用にならなかったストロボ電源部は、通電または発光をくり返すとコンデンサーが発熱し、発火、火災の恐れがあります。
- 過酷な使用で万一過熱警報がはたらいた場合は、過熱警報表示が点滅し、ブザー音で知らせます。
この場合、メインスイッチは「ON」のまま、使用はお控えください。
内蔵ファンで冷却効果が上がります。
※サウンドを「OFF」にすると警報音も鳴りません。
- B-Control(別売)は無線LANと同様に2.4GHz帯の周波数を使用しています。無線LAN環境下では、電波の混信により受信不良を起こす場合があります。その場合、チャンネルを変更して同調テストをおこなってから、ご使用ください。
(使用周波数: 2.402GHz ~ 2.481GHz)
- ミラーレスカメラをご使用の場合、カメラのシャッター方式は「メカニカルシャッター」の設定を推奨いたします。
「電子シャッター」をご使用になるとストロボは同調発光しない場合もあります。
- 赤外シンクロ装置(弊社製)の受信器は、室内の蛍光灯から離れた場所にセットしてください。
蛍光管から出る赤外線により、誤動作を起こすことがあります。
- 複数台のストロボ電源部を赤外シンクロ装置(弊社製)で使用するときは、それぞれのストロボ電源部に受信器をセットしてください。このときはすべてのストロボ電源部のフォトセルスイッチを必ず「OFF」にしてください。
赤外シンクロ受信器を使用していてもフォトセルスイッチが「ON」のときは、同調発光しない電源部が出ることがあります。

3 各部の名称とはたらき



1	メインスイッチ	電源スイッチです。 2秒間押すと「ON」になります。もう一度2秒間押すと「OFF」になります。 使用後は必ず「OFF」にしてください。本機にはオートパワーオフ機能はありません。無操作でも約15時間程度で電池が消耗し電源が切れます。
2	グループスイッチ(GR)	押すごとにB120本体のグループ設定がA／B／C／D／解除になります。 B120本体をグループ設定することでB-Control(別売)からグループ毎に無線コントロールすることができます。 B120本体のグループ設定を解除することで弊社無線シンクロ装置RS-発信器(別売)またはRS-コントローラー(別売)で無線シンクロのみ使用可能となります。
3	ダイヤルスイッチ	左右に回すとストロボ出力を1/3EVステップで調光します。 ほかにチャンネルナンバー(CH)やマルチ発光モードの発光回数、発光周波数(Hz)を設定します。
4	テスト発光/サウンドスイッチ	押すとストロボが発光します。 4秒間長押しするとブザー音をON/OFFに切り替えます。
5	チャンネルスイッチ(CH)	押すとチャンネルナンバーが点滅し設定モードになります。 ダイヤルスイッチでチャンネルナンバー(CH)を設定します。 もう一度チャンネルスイッチを押すとチャンネルナンバーを確定します。
6	フォトセルスイッチ	押すごとにフォトセルモードが同調発光(S1)／同調発光 ブリ発光カット(S2)／OFF(消灯)になります。 他のストロボ光を受けて同調発光させるときに設定します。
7	マルチ発光スイッチ	押すと発光モードがマルチ発光モードになります。 スイッチを押すごとに、発光回数、発光周波数(Hz)の数値が点滅します。 点減した数値をダイヤルスイッチで設定します。 設定が完了したら、スイッチを押して数値を確定します。 ※カメラブランドがFujiの場合、テスト発光スイッチを押すと設定回数分の発光をします。
8	発光モードスイッチ(MODE)	・押すごとに発光モードをマニュアルモード[M]とマルチ発光モードに切り替えます。 ・2秒間押すと各設定がリセットされ工場出荷時の設定になります。 ・押しながらHSSスイッチを押すと、カメラブランドを切り替えます。
9	フォトセル受光部	フォトセル機能を使用する際は、受光部を塞がないようにしてください。
10	HSSスイッチ	※B-Control Canon使用時のみ機能します。 押すごとに発光モードをマニュアルモード[M]とマニュアルHSSモード[M][HSS]に切り替えます。 ※モード切り替えはB-Controlにて設定してください。 (B120本体での操作は無効となります。)
11	モデリングランプスイッチ	押すごとにモデリングランプモードを出力連動調光／100%点灯／AF-ON／消灯に切り替えます。 ※AF-ONモードはカメラ機種により動作しない場合があります。
12	リチウムイオン電池 B120用-充電コネクター	専用充電器以外の接続は絶対にしないでください。
13	出力表示	ストロボ出力を表示します。
14	過熱警報表示	内部電子部品が所定温度以上になるとブザー音と共に点滅表示します。 ※サウンドを「OFF」にすると警報音も鳴りません。
15	電池残量表示	4段階表示と電池マークの点滅により電池残量を表示します。 電池残量が無くなるとブザー音と共に電池マークが点滅表示します。 ※サウンドを「OFF」にすると警報音も鳴りません。

4 撮影準備

16	ストロボ充電完了表示	ストロボ充電完了で3つ点灯します。
17	モデリングランプモード表示	<ul style="list-style-type: none"> 消灯…モデリングランプ消灯 ①…出力運動調光 ②…100%点灯 ③…AF-ON <p>カメラのシャッター半押しで点灯。カメラからの信号停止で消灯。 ※AF-ONはカメラ機種により動作しない場合があります。</p>
		
18	グループ表示(GR)	<ul style="list-style-type: none"> A ~ D…グループ設定 消灯…グループ解除
19	フォトセルモード表示	<ul style="list-style-type: none"> 消灯…フォトセル OFF S1…同調発光 S2…同調発光 プリ発光カット
20	チャンネルナンバー表示(CH)	チャンネルナンバー 1 ~ 80CH を表示します。
21	マルチ発光モード表示	<ul style="list-style-type: none"> 発光回数表示…発光回数を表示します。 発光周波数表示(Hz)…1秒間の発光回数を表示します。
22	発光モード表示	<ul style="list-style-type: none"> M…マニュアルモード M …マニュアルHSSモード
23	カメラブランド表示(Canon/Nikon/Fuji/Sony)	同じチャンネルの各カメラブランドのB-Control(別売)を操作すると、自動的に切り換わります。
24	発光面	ストロボの連続発光中や発光直後はかなりの高温になります。絶対に手を触れないでください。
25	電池ロック解除レバー	下方向にスライドすると電池ロックが解除されます。
26	シンクロソケット	Bシンクロコード5m(別売)でカメラと接続します。 ※カメラのシャッタースピードは1/60秒以下に設定してください。
27	ファン吸気孔	冷却ファンの吸気孔です。使用中は塞がないでください。内部温度により冷却ファンが自動的に回転・停止します。
28	メスネジ(2分ネジ)	付属のグリップB120用を取り付けます。
29	リチウムイオン電池B120用	B120本体上部に取り付けます。
30	オスネジ(2分ネジ)	B120底面のメスネジに取り付けます。固定ネジでしっかりと固定します。
31	固定ネジ	
32	アンブレラ取付穴	軸径φ8mmのアンブレラ(別売)を使用することができます。内側に抜け止めのツメがありますので、アンブレラの軸をセットする際は強めに差し込んでください。
33	角度ロック解除レバー	しっかりと握りながら、グリップの角度を調整します。
34	メスダボ	付属のダブルダボをセットします。ロックリングを右に回すと解除、左に回すと固定します。

リチウムイオン電池 B120 用

■電池の取り外し・取り付け

電池の着脱は必ず、B120 本体のメインスイッチを「OFF」にしてからおこなってください。

■取り外し

B120 側面の電池ロック解除レバーを下方向にスライドさせながら、電池をB120 から取り外します。



■取り付け

B120 と電池底面の金属端子の向きを合わせ、「カチッ」と音がするまで確実に押し込んでください。

■電池残量の確認

電池底面のBattery Checkを押すと4つのLEDで電池残量を表示します。



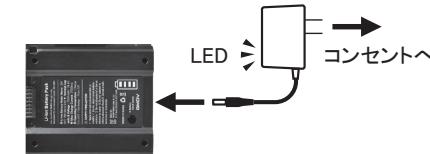
■電池の充電

- 製品出荷時の電池は、満充電ではありません。ご使用を開始する前に電池を充電してください。
- 電池の充電は、必ず充電器 B シリーズ用または、充電器 Dm-360 用を使用してください。専用充電器以外の接続は絶対にしないでください。
- また、専用充電器は弊社指定の電池以外、絶対に接続しないでください。
- B120 本体に電池を装着したまま充電する場合は、絶対に B120 のストロボ発光をしないでください。電池劣化の原因となります。

1. 電池を充電器に接続します。
2. 充電器をコンセントに差し込みます。

充電器のLEDランプが赤色に点灯し、充電を開始します。
残量の少ない電池は充電完了までに約2時間30分かかります。

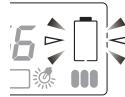
LED表示	
赤色点灯	充電中
緑色点灯	充電完了/待機中



- 電池満充電、出力 FULL で約 700 回発光することができます。
(電池性能は、使用期間や使用回数に応じて低下します。)
- 電池の残量表示が 2 以下では、LED モデリングランプの光量が低下します。
- 長時間 B120 をご使用になる場合は、予備の電池をご用意ください。

■電池切れ警報について

電池残量が無くなるとブザー音と共に電池マークが点滅表示します。B120のメインスイッチを「OFF」にして電池を充電するか、予備の電池に交換してください。



●サウンドモードが「OFF」の場合、ブザー音は鳴りません。

【警告】

発熱・発火・感電・傷害の恐れがあります。

- 分解や改造はしないでください。
- 水に濡らさないでください。
- 火中への投入や過熱はさせないでください。
- 他の用途に転用しないでください。
- 落下させたり、強い衝撃を与えないでください。
- 電池の金属端子間をショートさせないでください。
クリップやヘアピンなど金属製のものと一緒に持ち運んだり、保存しないでください。
- ご不要になった電池は電極部分にテープを貼り付けて絶縁してください。

■リチウムイオン電池B120用の取り扱いについて

1. 使用温度について

- ・使用温度は、0°C～40°Cの範囲内で使用してください。
0°C以下や40°C以上では電池容量が少なくなり所定の発光回数が得られなかったり、性能劣化の原因となりますのでご注意ください。

2. 寒冷地での使用について

- ・電池が0°C前後まで冷えると、電池の充電状態に関係なく、ストロボの充電ができないことがあります。このような場合には電池をカイロなどで室温(20°C～25°C)になるように暖めてください。
- ・電池を暖める場合は直火にあてたり温湯をかけたりしないでください。
感電や故障の原因になります。

3. 充電について

- ・充電時の周囲温度は0°C～40°Cの範囲内で行ってください。
特に効率がよいのは、10°C～30°Cです。
- ・0°C以下、あるいは40°C以上では充電効率が低下し、充分充電されないばかりでなく性能劣化や液漏れの原因になることがあります。

4. 保存について

- ・保存温度は0°C～30°Cの範囲で、乾燥した場所を選んでください。
- ・保存期間が長期の場合、満充電状態ではなく電池の残量表示3程度の状態で涼しい場所で保管してください。

5. 長期間の放置について

電池を長期間放置しておくと自然放電します。使用する前に再度充電をおこなってください。

6. リチウムイオン電池のリサイクルについて

劣化し不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。不要になった電池は金属端子部分にテープを貼り付けて絶縁してください。



■リチウムイオン電池B120用の輸送に関するご注意

●航空機輸送の場合

ご利用になる航空会社のHP及び案内窓口へ直接お問い合わせください。
航空会社の判断による持ち込み不可の場合でも当社は損害負担をいたしかねます。

○リチウムイオン電池B120用のワット時定格量は、100Wh以下です。

(リチウムイオン電池B120用のワット時定格量は、2500mAh×14.4V=36Whになります。)

○B120本体に電池を装着した場合

B120本体に電池を装着した状態での客室内持ち込みと、受託手荷物は認められています。

○電池単体の場合

電池単体の受託手荷物は禁止されています。
電池単体での客室内持ち込みは認められていますが、電池単体を客室内に持ち込む場合、購入時的小売容器に収納するか、それぞれの電池を個別にプラスチックの袋もしくは保護パウチに収納してください。

○破損または不具合のあるリチウムイオン電池は、航空機で輸送することはできません。

●海上・陸上輸送の場合

リチウムイオン電池は危険物の扱いとなります。各輸送手段での輸送規則に従ってください。

グリップ B120 用の取り付け

B120底面のメスネジ(2分ネジ)にグリップを取り付けます。

グリップ上部の固定ネジで確実に固定してください。

■ダブルダボの着脱

B120をスタンドにセットする場合は、グリップ底部のメスダボに付属のダブルダボを挿入し、ロックリングを左に回して固定します。ダブルダボを取り外すには、ロックリングを右に回して解除します。

【ご注意】

本品を吊り式で使用しないでください。

ダブルダボからグリップが抜けて、落下・破損する恐れがあります。



■角度調整

角度ロック解除レバーをしっかりと握りながら、グリップの角度を調整します。



【ご注意】

●角度ロック解除レバーを握らずに、無理に角度を変更すると部品の摩耗、破損する恐れがあります。

●角度調整する際は、反対側の手でスタンドを保持してください。

製品が転倒して破損する恐れがあります。

B-Control をカメラに取り付ける

B-Control(別売)をカメラ本体上部のアクセサリーシューに奥まで確実に差し込み、固定リングを「LOCK」の方向に回して固定します。

●B-Controlを取り付け、取り外す際は必ず、カメラとコントローラーの電源を「OFF」にしてください。

【ご注意】

●カメラ機種によってはホットシューの形状がB-Controlを取り付けにくい形状の機種があります。

無理に取り付けた場合、B-Controlのホットシューの電極ピンや、カメラ本体が破損する恐れがありますのでご注意ください。

メインスイッチの ON/OFF

B120のメインスイッチを2秒間押すと「ON」になります。表示が点灯し、充電を開始します。

もう一度、2秒間押すと「OFF」になります。使用後は必ず「OFF」にしてください。



【ご注意】

本機にはオートパワーオフ機能はありません。

電池満充電でメインスイッチを「ON」にした場合、無操作でも約15時間程度で電池が消耗し電源が切れます。

無線シンクロ撮影

本機は、B-Control(別売)を使用すると、B120を最大4灯使用した無線シンクロ撮影ができます。

●B-Control付属の取扱説明書もあわせてお読みください。

■B-Controlの設定

B-ControlのライトモードをB120モードに設定します。

B-Controlの \odot を押しながら \odot を2秒間押すとB-Controlの『Light360』表示が消灯して、B120モードになります。



●B-Controlの調光範囲

ライトモード	発光モードと調光範囲	
表示	マニュアルモード	マニュアルHSSモード
B360モード 1/64 360	FULL～1/128	FULL～1/32
B120モード —	FULL～1/256	FULL～1/32*

*B-Controlは1/64まで変動しますが、B120の調光可能範囲は1/32までです。

■チャンネルの設定

B120とB-Controlのチャンネルを合わせます。

□ B120 のチャンネル設定

1. チャンネルスイッチ(CH)を押すとチャンネルナンバーが点滅します。
2. ダイヤルスイッチを回して1から80までのチャンネルに設定します。
3. もう一度チャンネルスイッチを押すと設定を確定します。



□ B-Controlのチャンネル設定

1. B-Controlのメインスイッチを「ON」にします。
2. チャンネルスイッチ(Ch)を押すとチャンネルナンバーが点滅します。
3. +/−スイッチを押してB120と同じチャンネルに設定します。
4. もう一度チャンネルスイッチを押すと設定を確定します。

■カメラブランドの設定

B-ControlとB120のチャンネルを合わせた状態でB-Controlを操作すると、B120のカメラブランド表示がB-Controlと同じカメラブランド(Canon/Nikon/Fuji/Sony)に切り換わります。

●カメラブランドが切り換わらない場合(マニュアル切り換え)

B120の発光モードスイッチ(MODE)を押しながらHSSスイッチ(HSS)を押す毎にカメラブランドがCanon/Nikon/Fuji/Sonyに切り換わります。

■RS-発信器／RS-コントローラーとの互換性

本機は、RS-発信器(別売)／RS-コントローラー(別売)との互換性があります。(P22)

■グループの設定

B120をA/B/C/Dいずれかのグループに設定します。(各グループ1灯まで)

B-Control(別売)からB120をグループごとに無線コントロールできます。



□ B120のグループ設定

B120のグループスイッチ(GR)を押すごとに、グループ設定がA／B／C／D／グループ解除(消灯)に切り換わります。



□各グループの無線コントロール

●ストロボ出力調光

1. B-Controlのグループスイッチ(A～D)を押してB120を選択します。
2. +/−スイッチを押すと1/3EVステップで調光します。

●ストロボ発光休止

B-Controlのグループスイッチ(A～D)いずれかを長押しすると、B-Controlと選択したグループのB120に「OFF」表示され、B120がストロボ発光を休止します。

※モデリングランプモードが点灯の場合、ストロボ発光を休止にしてもモデリングランプは消灯しません。

もう一度長押しするとストロボ発光休止が解除となり、B-ControlとB120にストロボ出力が表示されます。

【ご注意】

B-ControlでB120をストロボ発光休止にしてもストロボの電源は「OFF」になりません。B120を長時間ご使用にならないときは必ず、ストロボ本体のメインスイッチを「OFF」にしてください。

■チャンネル操作

B-Controlの下記の操作は、同じチャンネルのB120全てが同時にコントロールされます。

- 無線シンクロ発光
- マニュアルHSSモードへの切り換え
- マルチ発光モード
- モデリングランプモード

5 マニュアルモード

マニュアルモードはカメラの通常ストロボ同調シャッタースピードで、ストロボ出力をFULL から1/256まで1/3EVステップで調光して撮影することができます。

1. B-Controlの発光モードスイッチ(M)を押してマニュアルモードに設定します。

B-ControlとB120にMが表示されます。

2. B-Controlのグループスイッチ(A～D)を押して操作するB120を選択します。

+/-スイッチを押してストロボ出力を調光してください。

3. カメラのシャッターボタンを押して、B120がシンクロ発光することを確認してください。

【お願い】

- B-Controlのメインスイッチを「ON」にするとバックライトが点灯します。

この状態でカメラのシャッターボタンを連続して押すと、

バックライトが消灯しないため、B-Controlの電池消耗が早くなります。

● スイッチを押してバックライトを消灯してからシャッター操作を開始してください。

【ご注意】

- ミラーレスカメラをご使用の場合、カメラのシャッター方式は「メカニカルシャッター」の設定を推奨いたします。

「電子シャッター」をご使用になるとストロボは同調発光しない場合もあります。

- ストロボ操作はB-Controlよりおこなってください。

カメラ本体の「MENU」>「フラッシュ設定」から操作すると、誤動作の原因になります。

●連続撮影時のご注意

B120は充電完了前発光が可能ですが、光量が100%ではありません。

連続撮影をした場合、同じストロボ出力でも充電前発光にて撮影された写真は仕上がりが暗くなります。

- ストロボ出力を1/128以下に下げて断続的に撮影(発光)をおこなった場合、本機性能により光量ばらつきが発生いたしますのでご注意ください。

■シンクロコードを使用した場合

マニュアルモードはBシンクロコード5m(別売)でB120とカメラを接続して撮影することができます。このときB-Controlは使用しません。

1. B120底面のシンクロソケットとカメラのシンクロ端子をシンクロコードで接続します。

2. B120のダイヤルスイッチを回してストロボ出力を調光してください。

3. カメラのシャッターボタンを押して、B120がシンクロ発光することを確認してください。

※カメラのシャッタースピードは1/60秒以下に設定してください。



6 マニュアルHSSモード

マニュアルHSSモードはカメラのシャッタースピードが最大1/8000までの場合、ストロボ出力をFULL から1/32まで(Sonyは1/64まで)を1/3EVステップで調光して撮影することができます。

- マニュアルHSSモードは、B-Control(別売)を使用します。

■マニュアルHSSモード

1. B-Controlをマニュアルモードに設定します。(前項参照)

2. ご使用のカメラブランドごとに、下記の設定をしてください。

□ Canon製カメラをご使用の場合

1. B-ControlのHSSスイッチ(Hz)を押してマニュアルHSSモードに切り替えます。

B-ControlとB120にM が表示されます。

※設定しない場合、カメラのシャッタースピードがハイスピードに設定できません。

2. B-Controlのグループスイッチ(A～D)を押して操作するB120を選択します。

+/-スイッチを押してストロボ出力を調光してください。
FULL(1/1)から1/32までを1/3EVステップで調光します。



【ご注意】

B-Control Canon用は、マニュアルHSSモードのとき出力表示は1/1から1/64まで変動しますが、B120本体の調光可能範囲は1/1から1/32までです。

3. カメラのシャッターボタンを押して、B120がシンクロ発光することを確認してください。

4. HSSモードを解除するには、もう一度B-ControlのHSSスイッチ(Hz)を押します。B-ControlとB120の表示が消えます。

【ご注意】

最初にカメラ本体の「(外部)ストロボ制御」>「(外部)ストロボ機能設定」>「シンクロ設定」を「先幕シンクロ」から「ハイスピード」に変更するとB-Controlの操作ができなくなります。この場合、B-ControlのHSSスイッチを押してHSSモードを解除してから、上記1～3の手順で設定しなおしてください。

7 マルチ発光モード

□ Nikon製カメラをご使用の場合

1. カメラ本体の「フラッシュ撮影同調速度」を「オートFP」に設定します。
設定しない場合、カメラのシャッタースピードがハイスピードに設定できません。
2. カメラのシャッタースピードをハイスピードにすると連動して、B-ControlとB120がマニュアルHSSモードに切り換わります。
B-ControlとB120にM  が表示されます。
3. B-Controlのグループスイッチ(A～D)を押して操作するB120を選択します。
+/-スイッチを押してストロボ出力を調光してください。
FULL(1/1)から1/32までを1/3EVステップで調光します。

【ご注意】

B-Control Nikon用はマニュアルHSSモードのとき出力表示は1/1から1/64まで変動しますが、B120本体の調光可能範囲は1/1から1/32までです。

4. カメラのシャッターボタンを押して、B120がシンクロ発光することを確認してください。

□ FUJIFILM製カメラをご使用の場合

1. カメラ本体の「同調モード」を「AUTO FP(HSS)」に設定します。
2. カメラのシャッタースピードをハイスピードにすると連動して、B-ControlとB120がマニュアルHSSモードに切り換わります。
B-ControlとB120にM  が表示されます。
3. B-Controlのグループスイッチ(A～D)を押して操作するB120を選択します。
+/-スイッチを押してストロボ出力を調光してください。
FULL(1/1)から1/32までを1/3EVステップで調光します。

【ご注意】

B-Control Fuji用はマニュアルHSSモードのとき出力表示は1/1から1/64まで変動しますが、B120本体の調光可能範囲は1/1から1/32までです。

4. カメラのシャッターボタンを押して、B120がシンクロ発光することを確認してください。

□ Sony製カメラをご使用の場合

1. カメラのシャッタースピードをハイスピードにすると連動して、B-ControlとB120がマニュアルHSSモードに切り換わります。
B-ControlとB120にM  が表示されます。
2. B-Controlのグループスイッチ(A～D)を押して操作するB120を選択します。
+/-スイッチを押してストロボ出力を調光してください。
FULL(1/1)から1/32までを1/3EVステップで調光します。
3. カメラのシャッターボタンを押して、B120がシンクロ発光することを確認してください。

【ご注意】

B-Control Sony用は、マニュアルHSSモードのとき出力表示は1/1から1/64まで変動しますが、B120本体の調光可能範囲は1/1から1/32までです。

カメラのスローシャッターとマルチ発光モードを組み合わせて撮影すると、動いている被写体を一つの画像に多重撮影することができます。

1. B-Controlの発光回数スイッチ(T)を長押しして、マルチ発光モードに切り替えます。
B-ControlとB120に発光回数と発光周波数(Hz)が表示されます。
B-Control Nikon用／Fuji用／Sony用はHzスイッチの長押しでもマルチ発光モードに切り換えることができます。



2. ストロボ出力、発光回数、発光周波数(Hz)を設定します。

●ストロボ出力の設定

B-Controlの+/-スイッチを押してストロボ出力を調光してください。
1/4から1/256までを1/3EVステップで調光します。

●発光回数(T)／発光周波数(Hz)の設定

B-Controlの発光回数(T)、発光周波数(Hz)各スイッチを押すと数値が点滅します。
+/-スイッチで数値を設定します。

(発光周波数 Hz=1秒間の発光回数)

設定が完了したら、もう一度スイッチを押して数値を確定してください。
最大発光回数については、下記の表の値を参照してください。

【ご注意】

発光回数は表を超える数値に設定可能ですが、B120の過熱による故障を防ぐため、表の値を超える数値には設定しないでください。

最大発光回数

Hz Flash Output	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12-14	15	16-19	20-50	51-99
1/4	7	6	5	4	4	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2
1/8	14	14	12	10	8	6	6	5	5	4	4	4	4	4	4	4
1/16	30	30	20	20	20	20	20	8	8	8	8	8	8	8	8	8
1/32	60	60	60	50	50	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
1/64	90	90	80	80	80	70	70	60	60	50	40	40	35	35	30	20
1/128	99	99	99	99	99	90	90	80	80	70	70	60	50	50	40	40
1/256	99	99	99	99	99	90	90	80	80	40	40	40	40	40	40	40

B-Control Fuji用のみ

Hz Flash Output	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12-14	15	16-19	20-50 (5step)	60-90 (10step)
1/4	7	6	5	4	4	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2
1/8	14	14	12	10	8	6	6	5	5	4	4	4	4	4	4	4
1/16	30	30	20	20	20	20	20	8	8	8	8	8	8	8	8	8
1/32	60	60	60	50	50	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
1/64	90	90	80	80	80	70	70	60	60	50	40	40	35	35	30	20
1/128	90	90	90	90	90	90	90	80	80	70	70	60	50	50	40	40
1/256	90	90	90	90	90	90	90	80	80	40	40	40	40	40	40	40

3. カメラ本体のシャッタースピードを設定します。
シャッタースピードは下記の計算式で求めます。

$$\text{発光回数}(T) \div \text{発光周波数}(Hz) = \text{シャッター速度}$$

4. カメラのシャッターボタンを押してB120がシンクロ発光することを確認してください。
●マルチ発光モードを解除するには、B-Controlの発光モードスイッチ(M)を押します。
B-ControlとB120がマニュアルモードに切り換わり、Mが表示されます。
●B-Controlでマルチ発光モードの撮影をする場合、同じチャンネルのB120が全て同じ数値に設定されます。

■シンクロコードを使用した場合

マルチ発光モードはBシンクロコード5m(別売)でB120とカメラを接続して撮影することができます。このときB-Controlは使用しません。

1. B120底面のシンクロソケットとカメラのシンクロ端子をシンクロコードで接続します。
2. B120の発光モードスイッチ(MODE)または、マルチ発光スイッチを押してマルチ発光モードに切り替えます。
B120に発光回数と発光周波数(Hz)が表示されます。
3. B120のダイヤルスイッチを回してストロボ出力を調光してください。
4. マルチ発光スイッチを押すごとに、発光回数、発光周波数の数値が点滅します。
点滅した数値をダイヤルスイッチで設定します。
設定が完了したら、マルチ発光スイッチを押して数値を確定します。
5. カメラのシャッターボタンを押して、B120がシンクロ発光することを確認してください。
※カメラブランドがFujiの場合、テスト発光スイッチを押すと設定回数分の発光をします。

8 フォトセル

他のストロボ光を受けて同調発光することができます。

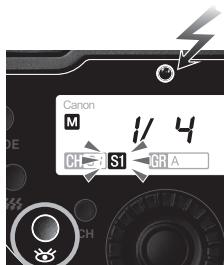
B120本体のフォトセルスイッチを押すごとにフォトセルモードが同調発光(S1)／同調発光 プリ発光カット(S2)／OFF(消灯)に切り換わります。

■同調発光モード(S1)

他のストロボ光を受けて同調発光します。 

■同調発光 プリ発光カットモード(S2)

1回目のプリ発光は無視し、2回目のメイン発光に同調発光します。 



■OFF(消灯)

B-Controlを使用する場合や、同調発光させない場合は「OFF」にします。

- フォトセル受光部はB120本体の操作パネル面中央に内蔵されています。
実際の撮影前に、必ずカメラとのシンクロ発光テストを行ってください。

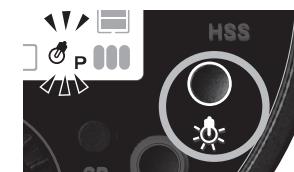
【ご注意】

- 室内照明に蛍光灯を使用している場合は、フォトセル受光部を50cm以上離してセットしてください。蛍光灯の光の影響により、不発光や誤発光することがあります。
また、フォトセル受光部周辺に直射日光など強い光が当たると作動しないことがあります。

9 モデリングランプ

モデリングランプスイッチを押すごとにモデリングランプモードが 100% 点灯／AF-ON／消灯に切り換わります。

- B-Controlでモデリングランプモードを設定する場合、同じチャンネルのB120が全て同じ設定になります。



■OFF(消灯)

モデリングランプを消灯します。



■出力連動調光

モデリングランプはストロボ出力1/1のとき100%の明るさとしてストロボ出力に連動して調光します。



- 本機の仕様により、このモードのストロボ出力1/1のモデリングランプの光量は、100%点灯モードよりも暗くなります。

■100%点灯

ストロボ出力に関係なく、モデリングランプが100%の明るさで点灯します。



■AF-ON

カメラのシャッターを半押しすると点灯します。
カメラからの信号停止で消灯します。



【ご注意】AF-ONは動作しないカメラ機種があります。

10 サウンド

テスト発光スイッチを4秒間長押しするごとに、サウンドをON／OFFに切り替えます。ブザー音が2回鳴り、設定を表示します。

【ご注意】

テスト発光スイッチを押した際に、ストロボが発光しますのでご注意ください。



表示	設定
bOn	サウンドON
bOff	サウンドOFF

●サウンドを「OFF」にすると警報音も鳴りません。

11 RS- 発信器／RS- コントローラー

B120本体のグループ設定を解除することで弊社無線シンクロ装置 RS- 発信器（別売）または、RS- コントローラー（別売）で無線シンクロのみ使用可能となります。

●発光モードはマニュアルモードのみ使用可能です。

1. カメラのアクセサリーシューに発信器を装着します。

2. B120本体の発光モードスイッチ(MODE)を押してマニュアルモードに設定します。

B120にMが表示されます。

3. B120のグループスイッチ(GR)を押して、グループ解除(表示消灯)に設定します。

4. 次ページの『無線シンクロ装置とのチャンネル対応表』でB120のチャンネルナンバー 65～80CHと、発信器のチャンネルを合わせます。

5. カメラのシャッターボタンを押して、B120がシンクロ発光することを確認してください。



●無線シンクロ装置とのチャンネル対応表

B120	CH65	CH66	CH67	CH68	
RS-発信器 スイッチポジション	ON ECE 1 2 3 4				
RS-コントローラー	1CH	2CH	3CH	4CH	
CH69	CH70	CH71	CH72	CH73	CH74
ON ECE 5CH	ON ECE 6CH	ON ECE 7CH	ON ECE 8CH	ON ECE 9CH	ON ECE 10CH
5CH	6CH	7CH	8CH	9CH	10CH
CH75	CH76	CH77	CH78	CH79	CH80
ON ECE 11CH	ON ECE 12CH	ON ECE 13CH	ON ECE 14CH	ON ECE 15CH	ON ECE 16CH
11CH	12CH	13CH	14CH	15CH	16CH

【お願い】

- 本番撮影をされる前にシンクロテストを行うことをお勧めします。
- カメラのシャッタースピードは1/60秒以下に設定してください。
※カメラ機種によっては同調するシャッタースピードが異なります。
- 後幕シンクロ撮影には対応しておりません。

12 過熱警報

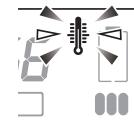
長時間の連続発光により、内部の電子部品が所定の温度以上になった場合は、過熱警報表示が点滅し、ブザー音で知らせます。

このとき、強制的に発光は停止し、モーリングランプモードは「OFF」になります。

●サウンドモードが「OFF」の場合、ブザー音は鳴りません。

【お願い】

- 過熱警報作動時は、メインスイッチは「ON」のまま、使用はお控えください。
内蔵ファンで冷却効果が上がります。
- 製品の通気孔をふさいだ状態で連続発光しないでください。



13 出荷時設定

■B120の出荷時設定への戻し方

B120の発光モードスイッチ(MODE)を2秒間押すと出荷時の設定に戻ります。

【出荷時の設定】

マニュアルモード1/4／チャンネル1CH／グループA／モデリング消灯



■B-Controlの出荷時設定への戻し方

B-Controlの発光モードスイッチ(M)を2秒間押すと、B-Control本体と同じチャンネルのB120がすべて、出荷時設定に戻ります。

●万が一戻らない場合は、一度電池を外して再度取り付けてください。



14 保証とアフターサービス

■保証書と保証期間

添付された保証書に「販売店名・ご購入日」など、所定事項の記載もれがないかをご確認のうえ大切に保存してください。なお、保証期間はご購入日から一年間です。

本製品に、純正部品・純正アクセサリー以外のものを使用することによって生じた故障・事故、および本取扱説明書で明記した注意・禁止された事項をお守りにならざり生じた故障・事故について一切の責任を負いかねます。

また、消耗品類は保証の対象となりません。詳しくは保証書の保証規定をご参照ください。

■保証期間終了後の修理

保証期間後でもご要望により有償で修理いたします。引き続き安心してご使用いただけます。

■アフターサービス

すべてのコメット製品は、厳重に調整・検査して出荷されていますが、万一故障になったときはご購入店または弊社営業所へご連絡ください。

■修理・点検へお出しになる際のご注意

修理・点検にお出しになる際は、ご使用中の電池、コントローラー、シンクロコードなどをセットにしてご依頼ください。迅速なアフターサービスをさせていただきます。

修理・点検の際には、保証期間内外にかかわらず、保証書を必ずご提示ください。

※保証書は販売証明書として修理・点検の際、御確認させていただきます。

保証書が無い場合は修理・点検をお断りする場合もございます。

また、修理にお出しになる前に電池が正しくセットされているかをお調べください。

■修理・点検後のご注意

修理伝票は修理完了品に添付してあります。

修理内容が明記されておりますので、修理品をお受け取りになる際に確認してください。

また、修理伝票は次回の修理に必要となることがありますので大切に保存してください。

■製品情報やお問い合わせについて

下記のホームページにて、サポート情報や改訂版取扱説明書を掲載しています。

<https://www.comet-net.co.jp/>

15 仕様

品名	B120 HSS
型式	B120-HSS
電池	リチウムイオン電池B120用(14.4V 2500mAh 36Wh) 専用充電器:充電器Bシリーズ用(充電時間:約2.5時間) 充電器Dm-360用(充電時間:約2.5時間)
オートパワーオフ	無し
発光回数	約700回 (出力FULL モデリングランプ消灯 電池100%充電時 3秒間隔)
最大出力	120Ws
ストロボ調光方式	シリーズカット方式
ストロボ調光範囲	マニュアルモード FULL~1/256 1/3EVステップ マニュアルHSSモード FULL~1/32 1/3EVステップ ※マニュアルHSSモードはB-Control使用時のみ可能
出力表示	液晶デジタル表示(1/1 ~ 1/256)
発光回数表示	無し
電池残量表示	4段階表示と電池マークの点滅 ※電池切れ警報:電池マーク点滅とブザー音
キセノンランプ	サークル管(寿命約50,000回)
モデリングランプ	LED 15W(約4400K) (寿命約50,000時間)
充電時間	1.0秒(出力FULL 電池100%充電時)
閃光時間(t0.5)	1/1200 ~ 1/18000
対応カメラブランド	Canon / Nikon / FUJIFILM / Sony ※動作しないカメラ機種があります。
発光モード	マニュアルモード / マニュアル高速シャッターモード / マルチ発光モード
マルチ発光モード	発光回数1 ~ 99回 発光周波数1 ~ 99Hz Fujiのみ発光回数2 ~ 90回 発光周波数1 ~ 90Hz ※発光回数は出力により制限があります。
モデリングモード	消灯 / 出力連動調光 / 100%点灯 / AF-ON ※AF-ONは動作しないカメラ機種があります。
サウンドモード	ON / OFF (警報音も鳴りません)
ストロボ充電完了表示	3段階表示 3つ点灯で充電完了
シンクロソケット	ホーンジャック(3.5 φ)
シンクロ電圧	DC15V
対応無線シンクロ装置	B-Control / RS-発信機 / RS-Controller ※B-Control以外は無線シンクロのみ対応
リモコン受信機能	使用周波数2.402GHz ~ 2.481GHz
チャンネル数	80チャンネル ※B-Controlのみ対応
フラッシュグループ	4グループ(A / B / C / D)・解除 ※各グループ1灯までB-Controlのみ対応
フォトセル	S1同調発光 / S2同調発光 プリ発光カット / OFF
過熱警報	過熱表示点滅とブザー音
クーリングファン	内蔵 ※内部温度上昇により動作します。
適合アクセサリー	B120 タイプ
寸法	91(φ) × 134(d) mm
重量	780g(本体+グリップ+ダボ) ※電池重量240 g含まず

B-Control仕様

品名	B-Control Sony用 / Fuji用 / Canon用 / Nikon用
型式	B-SN-CO / B-FJ-CO / B-CA-CO / B-NK-CO
使用周波数	2.402GHz ~ 2.481GHz
チャンネル数	80チャンネル ※B120 / B360のみに対応
フラッシュグループ	4グループ(A / B / C / D) ※各グループ1灯まで
動作距離	70m以内 ※使用環境により異なります。
ライトモード	B120 モード / B360 モード(Light360)
発光モード	マニュアルモード / マニュアルHSSモード / TTLモード※ / マルチ発光モード ※TTLモードは使用できません
ストロボ調光範囲	マニュアルモード B120 モード FULL~1/256 1/3EVステップ " B360 モード FULL~1/128 1/3EVステップ マニュアルHSSモード B120 モード FULL~1/32 1/3EVステップ " B360 モード FULL~1/32 1/3EVステップ
マルチ発光モード	発光回数1 ~ 99回 発光周波数1 ~ 99Hz Fujiのみ発光回数2 ~ 90回 発光周波数1 ~ 90Hz ※発光回数は出力により制限があります。
Xモード(Canon用のみ)	無線シンクロ / マルチ発光モード
シンクロソケット	ホーンジャック(2.5 φ)
電池	単4形アルカリ乾電池 2本
スリープモード	無し
寸法	54(w) × 42(h) × 83(d)mm
重量	66g(本体のみ)

●本仕様は2022年3月現在のものです。改良のため予告なく変更することがあります、あらかじめご了承ください。

16 トラブルシューティング

MEMO

■ B120の電源が入らない。

⇒リチウムイオン電池B120用の電池残量を確認してください。
電池残量が少ない場合、電池を充電してください。

■ B120の電源は入るが、B-Controlからの操作ができない。

⇒B120とB-Controlの電池残量をご確認ください
⇒B-Controlの電池を未使用品に交換してください。
⇒B120とB-Controlが同じチャンネル、同じグループになっているか、確認してください。
⇒B120または、B-Controlに“OFF”と表示されている場合、B-Controlの同じグループスイッチを
2秒押すと、B120とB-Controlに出力が表示され操作可能になります。

■ B120、B-Controlがフリーズして操作できない。

⇒B120とB-Controlの発光モードスイッチを2秒間押して、出荷時の設定に戻します。
戻らない場合はバッテリーを外して、取り付けなおしてください。

■ Canonユーザーの方

□ Xモード

Xモードに設定することで、カメラとの通信をX接点のみにします。
Canon製カメラは、機種によってはB-Control Canon用との互換性がないため、ストロボの誤動作や不発光が生じることがあります。このような場合はXモードにしてください。

□ Xモードの設定

B-Controlのバックライトスイッチ[●]を4秒間長押しすると、**M**表示が消えて、Xモードに切り換わります。

●解除する場合は、[●]を4秒間長押しします。**M**が表示され、マニュアルモードに切り換わります。

- ・グループごとのストロボ調光操作、発光停止操作ができます。
- ・モデリングランプのAF-ONモードは使用できません。
- ・HSSモードは使用できません。
- ・Xモードに設定すると、全てのグループがXモードになります。
- ・マルチ発光モードは使用できます。

■ Nikonユーザーの方

カメラ機種によってはマニュアル及びマニュアルHSSモード全てに関して発光しない場合がございますのでご注意ください。

この場合、RS-発信器またはRS-コントローラーでの無線シンクロ発光のみのご使用となります。

■ Sonyユーザーの方

モデリングランプモードのAF-ONはご使用になれません。

検査証	当製品は弊社の厳重なる検査に合格したことを証します。	品管	検査
-----	----------------------------	----	----

●長年ご使用のストロボ機器の点検をぜひ！

愛情点検	こんな症状はありませんか <ul style="list-style-type: none"> ●スイッチを入れても所定の時間で充電しない ●通電中に異音、異臭、あるいは発煙する ●ヒューズがすぐ切れる ●ストロボ電源部やヘッドに触るとピリピリと電気を感じる ●その他の異常や故障があるとき 	このような症状のときは直ちに使用を中止してACプラグをコンセントから抜いて、弊社営業所または販売店にご相談ください。
------	---	--

●ストロボは内部に高電圧を蓄える機器です。誤った操作、または異常を無視して使用すると、使用者への危険、または物的損害を与えることが予測されます。取扱い説明書の操作方法に従い、「警告」「注意」などを守って安全にお使いください。

●上記のような症状がなくても1年に1~2回は点検を受けられるようおすすめします。

アフターサービスについてのご相談は

COMET[®]

コメット株式会社

本社	〒174-0063 東京都板橋区前野町 3-47-1	TEL.(03)5916-5786	FAX.(03)5916-5872
仙台営業所	〒981-8003 仙台市泉区南光台 4-29-25	TEL.(022)727-6521	FAX.(022)727-6523
東京営業所	〒174-0063 東京都板橋区前野町 3-47-1	TEL.(03)5916-5788	FAX.(03)5916-5875
東京営業所 コマーシャル課	〒174-0063 東京都板橋区前野町 3-47-1	TEL.(03)5916-5789	FAX.(03)5916-5876
東京営業所 ストロボクリニック課	〒174-0063 東京都板橋区前野町 3-47-1	TEL.(03)5916-5794	FAX.(03)5916-5878
東京営業所 名古屋連絡所	〒463-0813 名古屋市守山区吉根南 501 101号室	TEL.(052)737-3175	FAX.(052)736-2841
大阪営業所	〒531-0075 大阪市北区大淀南 2-6-15	TEL.(06)7658-1188	FAX.(06)7658-4848
大阪営業所 ストロボクリニック課	〒531-0075 大阪市北区大淀南 2-6-15	TEL.(06)7658-1188	FAX.(06)7658-4848
福岡営業所	〒816-0912 大野城市御笠川 4-11-19 VI-2号室	TEL.(092)504-9005	FAX.(092)504-9006
海外事業部	〒174-0063 東京都板橋区前野町 3-47-1	TEL.(03)5916-5786	FAX.(03)5916-5872
産業機器部	〒174-0063 東京都板橋区前野町 3-47-1	TEL.(03)5916-5787	FAX.(03)5916-5874